

公表: 令和 6年 3 月 29日

事業所名 ライラック

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動に応じて空間の使い方、部屋の構造化を職員で話し合うことができています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を十分に満たしていて、とても働きやすいです。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関や部屋等、段差がなく、子ども達も安全に過ごせています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スーパービジョンの体制をしき、日々の活動からよかった事、改善した方が良い事、対応で困ったことなど職員同士で前向きに話し合えています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			貴重なアドバイスとして受け止め、改善の参考としています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部での研修、部門ごと研修、必要に応じて外部の研修にも参加し、専門性を高め、研鑽しています。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所内相談支援や必要に応じて家庭訪問等から、保護者様や本人のニーズを受け止め、計画を作成しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			最近接領域等、子どもの発達に応じて、今必要な活動を職員間で意見を出し合い、工夫して実行に移しています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や行事に合わせてさまざまなプログラムに取り組む事が出来ました。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			スケジュールを組み、時間で活動をわかりやすく区別し、見通しが持てるように工夫しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体で行う活動と、女子会や男子会、兄弟会など参加児に合わせてグループ分けを行い話しやすい、活動しやすい取り組みを行う事ができました。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日利用する子や子ども達の状況に合わせてどのような活動を行うか事前に話し合いをしています。	

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間で、子どもの様子や、子どもたち同士のやり取り、職員の関わりについて話し合い、上司とのフィードバックも受けながら、話し合いを持つことが出来ています。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日欠かさず、子どもの行動、職員の関わりについて記入し、またその記録を用いて振り返り等活用しています。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に振り返りを行い、PDCAサイクルで、必要な支援を考えています。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			子どもたちが見通しをもてるように活動のおおまかな流れは変えていません。状況に応じて変更しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			親との連絡ツールでの確認や変更等があった場合にも親、学校側と連携して取り組んでいます。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			3年生の事業所の為、保育所、幼稚園、認定こども園とのやり取りはありません。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				多くの研修に参加させてもらい、研鑽の機会があります。専門性や人間性を養う機会があります。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				日々、子どもの家での様子、事業所での様子を共有していき子どもの成長、困り感、関わり方など話し合っていました。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				グループカウンセリングやコミュニケーションズペアレントトレーニングを通して、肯定的な関わり方を一緒に学習、練習していています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			グループカウンセリングや日々のコミュニケーションから、困り感を聞き、関わり方などを一緒に話し合っていました。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			パパの会、父親参観、親子発達支援等、保護者の方が一緒に参加できる機会を設けています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			気になる事があった時などすぐに聞き取り、対応を上司に相談して対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			情報ツール(がくぶり)を利用して保護者に連絡事項を掲載して行きました。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			マニュアル、規則に則り、細心の注意をはらっています。安全のルールの読み合わせなど、法人全体で周知徹底しています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			相手に伝わりやすい言葉を選んで対応しています。必要な時文字や絵に描くことで伝えています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所に掲示しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回事業所での避難、年に1回地域の小学校への避難に取り組んでいます。地震、火災、水害を想定しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会による練習を毎週行い、助けを求め、助けに入る練習に取り組んでいます。またアンガーマネジメントの講習を法人全職員が取り組んでいます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画等に明記し、十分に説明し同意を得ています。子どもも事前に約束、同意を得ています。またそのようなことがあった場合は、規則に則り、記録を残しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に基づく、安全委員会、給食委員会のマニュアル通りにアレルギー対応を実行しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			安全委員会のマニュアル通りにヒヤリハットの報告を行い、法人内で共有しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。